

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	16 火葬場・墓地
事務事業名			03 市有墓地管理事業
根拠法令・例規等			墓地、埋葬等に関する法律 墓地等の経営の許可等に関する条例
問			担当課(室) 環境課
合			職・氏名 衛生係長・古松健二
先			電 話 64-1821
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	墓地区画を必要とする市民
目 的 (何のために)	市民の墓地需要に対応するため
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	墓地需要を満たす

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	市有墓地施設維持管理事業	市有墓地施設の維持管理を行う。	
	市有墓地整備事業	市有墓地の区画造成や整備を行う。	
	市債元金・利子償還事業	借入金の償還を行う。	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		7,470	9,696	8,004	
	必要人員(人件費)	千円	0.18人	1,210	0.22人	1,883
	事業費		8,680	11,579	9,029	
	国 県 支 出 金					
	受 益 者 負 担		625	10011	2,293	
	繰 入 金 債	千円				
	そ の 他 ()					
	一 般 財 源		8,055	1,568	6,736	
	受 益 者 負 担 比 率	%	7.2%	86.5%	25.4%	
	結果指標名	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
使用許可件数	説明	市有墓地永代使用許可件数				
結 果 指 標 量	件	2	17	5		
対 前 年 比	%	850.0%	850.0%	29.4%		
活 動 コ ス ト		8,680,000	11,579,000	9,029,000		
単 位 当 た り コ ス ト	円	4,340,000	681,118	1,805,800		

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	0	0	0	0
個人墓地経営許可件数		実績値(B)	3	6	3	到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0

成果指標設定の考え方・式や説明

市営墓地の残区画が少なく、個人墓地の許可申請・問い合わせ等が増加している。計画的な新設墓地の造成又は、既存墓地の区画造成を行うことにより市民の需要を満たし、新規個人墓地経営許可件数を減らす。

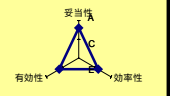
事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	C

Check

事業の目的やその数値目標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	市営墓地の適正な維持管理を行う。市民の墓地需要は引き続いてあり、墓地造成の整備計画と場所選定を検討する。市営墓地の適正な維持管理を行う。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
現在の市有墓地は残区画数が減少しているため、市民の墓地需要に対応するために、区画を造成する必要がある。備前地域:残区画数0、日生地域:残区画数0、吉永地域:残区画数29 市営墓地の適正な維持管理を行う必要がある。	評価区分 <A~E>	B



平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	市民・地区からの要望もあり、市営墓地の造成整備を行う。					

Action